

東光寺だより

東光寺人形供養 3月21日 午後1時より

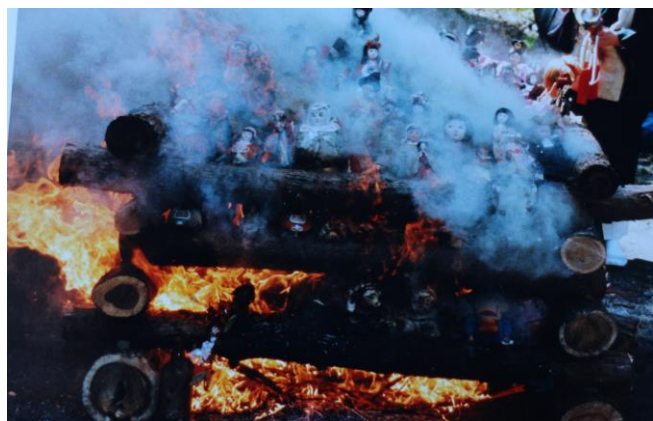
人形供養とはお人形のお葬式なのです。心をこめてご供養いたします。



境内にある人形塚は平成5年に東京の長屋信美氏ご夫妻の寄進によるものです。京人形をモデルに地元の細野石材店に彫刻していただきました。最初のころは春・秋彼岸のお中日に行なっていましたが秋は行事も多く現在は春のお中日に行なっています。当時の様子をアルバムから振り返ってみたいと思います。



毎年5百体にも及ぶ東西の人形をご供養いたしました。当時の人形供養（平成7年）



茶毘に付されるお人形達（平成7年）

東光寺人形供養は読経に続き副住職の尺八演奏、最後にこの偈をお唱えいたします。

人形の詩 作者不詳

人形よ 誰が作りしかしらねども 幼き日の喜びを
我らに与えしは 汝なり
人形よ 誰が授けしか知らねども 幼き日の夢を
我らに与えしは 汝なり
人形よ うれしき時 悲しき時 寂しき時
あの嫁ぐ日のひそかなる 我が涙を知れるは
汝なり
我が心の支えは 汝なり
人形たちよ
誰に愛されしかしらねども
今日勤めを終えて顔みなやすらかなり
誰に愛されしかわからねど
あいされし事実こそ 汝が成仏の誠なれ

たれか奏す無生の曲
笛声 調べは高し 東光の門

今年で30回目になりますが、最近は大天候を案ずることもあり本堂内部にて行なっています。ご供養されるお人形がありましたら事前に随時お持ちください。いつでも受け付けております。但しオモチャやぬいぐるみはご遠慮ください。

ご供養料はお志です。

お問い合わせ 0585 22 1043 東光寺

今月の生け花



華道東山流 東光寺 寺庭 鷺見 千恵子
令和4年3月1日

文責 東光寺住職 鷺見邦隆